

令和7年度 文部科学省委託 専修学校の国際化推進事業——外国人留学生の戦略的受入れ、円滑な就職及び定着に向けた体制整備
外国人IT人材の養成・就職を促進する専修学校アジア連携留学支援体制の整備

第3回 事業推進委員会 検討資料

令和8年1月



事業実施——各年度取組

令和6年度

【活動Ⅰ】 入学前の広報募集

会議	○ 事業推進委員会 ○ 分科会	3回開催 3回開催
調査	① IT専修学校留学生受入れ実態調査 ② 日本語学校IT留学生進路実態調査 ③ オンライン教育システム事例調査	
開発	01 日本IT留学ウェブサイト制作 (日英韓越) 02 日本IT留学SNS設定・運用(日韓越) 03 日本IT留学リーフレット制作 (日英韓越) 04 日本IT留学選抜試験作成 (能力適性検査：言語領域&非言語領域、 アセスメント：職業意識) 05 オンライン教育システム仕様策定 (在籍管理・学習管理・CBT出題・ 授業配信・連絡ツール等)	
催行	◆ オンラインオープンキャンパス 韓国 2回開催 (12/05 31人、12/11 27人) ◆ オンラインオープンキャンパス ベトナム 2回開催 (12/22 AM40人以上、PM40人以上)	

令和7年度

【活動Ⅱ】 在学中の教育指導

会議	○ 事業推進委員会 ○ 分科会	3回開催 3回開催
調査	④ IT専修学校留学生教育実態調査 ⑤ IT留学予備生キャリア意識調査 ⑥ IT留学生用日本語教材事例調査	
開発	06 日本留学広報媒体改良拡張 (前年度版更新、ウェブサイト& リーフレット中国語版追加) 07 オンライン教育システム開発 (前年度に策定した仕様の一部を 抽出してプロトタイプ構築) 08 IT留学生教育プログラム開発 (カリキュラム・シラバス) 09 IT留学生教育コンテンツ制作 (各科目 動画・教材・テスト等) 10 IT留学生学修評価基準策定 (スキル標準と学習到達度を融合して 学修成果を評価・認定する基準)	
催行	◆ オンラインオープンキャンパス (越10/19 40人、韓10/22 30人、 中11/02 50人) ◆ IT留学生教育 実証講座 (01/14~02/04 (3週間) 32人)	

令和8年度

【活動Ⅲ】 在学中の生活支援

会議	○ 事業推進委員会 ○ 分科会	3回開催 3回開催
調査	⑦ IT専修学校留学生支援実態調査 ⑧ IT留学生日本生活実態調査 ⑨ 在留外国人支援サービス事例調査	
開発	11 IT留学生教育プログラム改良拡張 12 留学生生活支援指導ガイド制作 (動画・リーフレット等) 13 留学生向け生活支援ガイド制作 (動画・リーフレット等)	
催行	◆ オンラインオープンキャンパス 中韓越 計3回開催 ◆ 留学生生活支援研修会 3回開催 ◆ 留学生交流会 1~2回開催	

令和9年度

【活動Ⅳ】 卒業年の就職支援

会議	○ 事業推進委員会 ○ 分科会	3回開催 3回開催
調査	⑩ IT専修学校留学生就職実態調査 ⑪ IT企業留学生採用実態調査 ⑫ IT留学生キャリア意識調査	
開発	14 IT企業向け 留学生採用PRコンテンツ制作 (動画・リーフレット等) 15 IT留学生向け 就職促進コンテンツ制作 (動画・リーフレット等) 16 IT留学生就職支援制度設計	
催行	◆ オンラインオープンキャンパス 中韓越 計3回開催 ◆ 企業向けIT専修学校説明会 2回開催 ◆ IT留学生就職促進フェア 2回開催	

※ 本年度事業では、IT留学生教育プログラム(およびコンテンツ)の開発と実証が主要な取組で、そのためのオンライン教育システムや学修評価基準も開発する。プログラムの科目・単元の構成は、調査結果や委員会での協議を踏まえ、専門学校通常授業でカバーしきれないが留学生に必要な内容を検討する。

※ オンラインオープンキャンパスは、4年間に亘る本事業の継続的な取組で、これを専門学校での有効な留学生募集手段として定番化できるよう、工夫を重ねる。非漢字圏ASEAN対応や規制が厳しい中国対応等のノウハウをしっかりとプロセス化する。

調査①～③ 実態調査&事例調査

本事業では本年度（令和7年度）、外国人IT人材アジア連携留学支援体制の構築と、その上で展開する教育指導活動に附随し（先立ち）、次の3調査を実施する。

名称	【調査④】 IT専修学校留学生教育実態調査	【調査⑤】 IT留学予備生キャリア意識調査	【調査⑥】 IT留学生用日本語教材事例調査
目的	IT専修学校における留学生教育の実態を把握することで、本事業における教育指導活動と外国人IT人材アジア連携留学支援体制構築の基礎資料にする。	IT分野への進学・就職を希望するアジア学生のキャリア形成に関する意識や実態を把握することで、本事業における広報募集・教育指導活動と外国人IT人材アジア連携留学支援体制構築の基礎資料にする。	IT留学生に適した日本語の既存教材に関する情報を収集・整理することで、IT留学生教育プログラムの教育内容を策定し、開発の基礎資料にする。
対象	全国のIT留学生受入れ専修学校100校程度	在アジアの日本留学希望学生120人程度	各種公開資料（出版物・ウェブサイト等）
手法	質問紙法&ウェブ回答	質問紙法&ウェブ回答	デスクリサーチ
項目	留学生の人数・出身地、日本語能力と日本語学習状況、留学生向けの特別プログラムやサポート体制、課題、教育指導上の工夫等	日本留学・就職意向、日本企業・IT職・専修学校のイメージ、職業キャリア概念、キャリアビジョン、職業観チェック、日本留学・就職の不安・課題等	タイトル・著者（编者・訳者を含む）・出版社・出版年・価格・概要（趣旨・要旨）・内容（目次・構成）・所見（特徴・利用法）等

▼ 日本IT専門人材留学ウェブサイト ITSJ (IT Study in Japan)



(PC版)

<https://denshi-mext.jp/itsj/>



(スマートフォン版)

▼ 日本IT留学リーフレット 『アジアIT専門人材の日本への留学』

【文部科学省委託】
専修学校の国際化推進事業——外国人留学生の戦略的受入れ、円滑な就職及び定着に向けた体制整備
外国人IT人材の養成・就職を促進する専修学校アジア連携留学支援体制の整備

【日本文部科学省委託】
専修学校国際化推進項目——面向外国留学生の国際性増進、国際交流及穩定发展的体制建设
促进外国IT人才培养与就业的专修学校亚洲联动留学支援体制建设项目

アジアIT専門人材の日本への留学

亞洲IT专业人才赴日留学

日中対訳版

在日本、企业与教育机构积极携手、CG制作、智能手机服务等涵盖娱乐、高度专业知识的项目不断增加。深厚的学生而言，意味着就业机会和职业发展。若能在此展现出扎实的实践能力、便是，日语运用能力及对企业文化的理解，打下坚实的综合基础。

流程

、还广泛涵盖网页设计师、项目总监、自身擅长的领域，并有机会转向项目管理。还会对日语的运用能力和沟通能力进行，并系统梳理自身的优势及计划考取的和技能要求各异，积极利用专业学校的。计作品会成为关键。将所掌握的专业知识何做出贡献，这无疑获得录用通知的。

日本電子専門学校

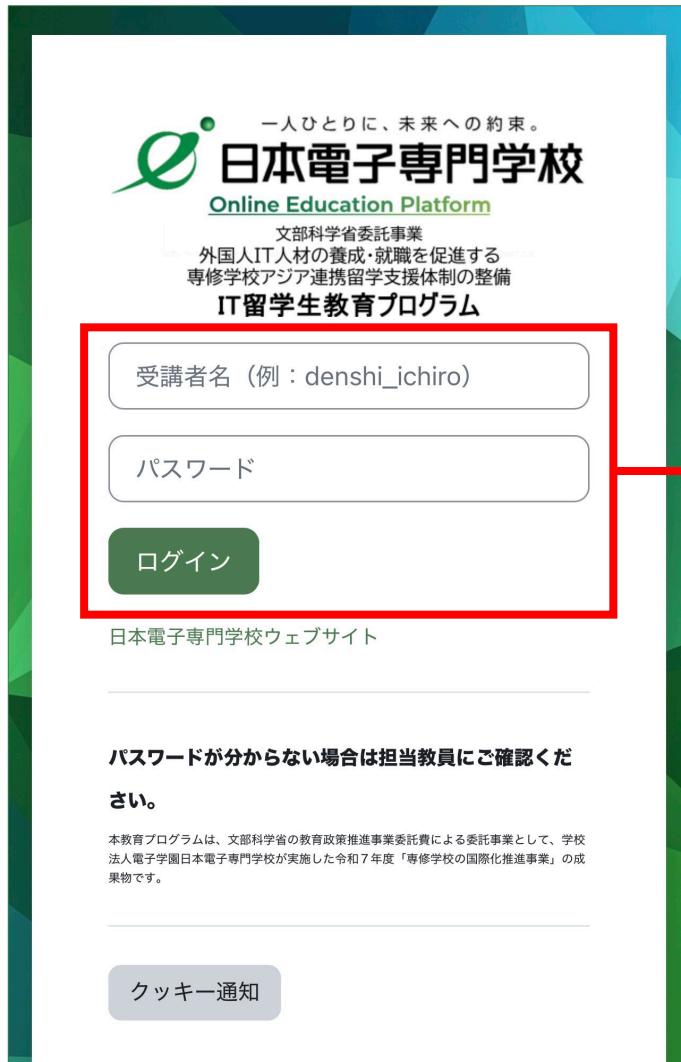
一人ひとりに、未来への約束。

INTERNET
CLOUD STORAGE
HARDWARE
SERVER
IT INFRASTRUCTURE
PROCESS

INFORMATION TECHNOLOGY

7

日中版対訳
A4判タテ 16頁 カラー

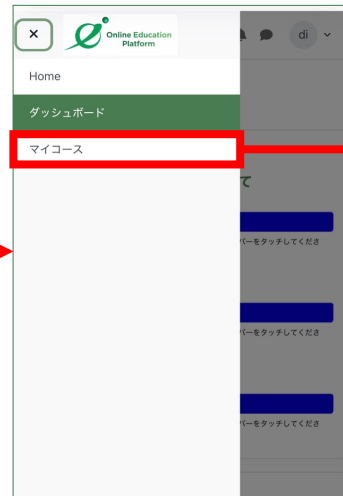


IT留学生教育プログラム オンライン教育基盤
ログイン画面

<https://denshi-mext.net/oe/>



ダッシュボード
(学習進捗状況等を表示)



メインメニュー



コース (科目) メニュー



講義視聴
(倍速再生・全画面表示可能)



確認テスト
(受験→採点)

開発08 IT留学生教育プログラム開発——シラバス 骨子 (科目A)

▼【科目A】IT留学生キャリア教育

日本の職業・職場を知り、日本で働く意義・目的を考え、そのために必要な職業意識を醸成することを留学生に促す。

<p>01 日本のIT人材として</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 日本のIT職種と役割（開発・保守・運用の違い） ○ 顧客視点と価値提供 ○ プロフェッショナルとしての姿勢（責任・質保証） ○ 学び続ける意義 <hr/> <ul style="list-style-type: none"> ◎ IT会社の1日を想定した ケース討議 + 共有（自分の役割を短く説明） 	<p>06 リスク認識と “小さな品質”</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ ミスの種類 ○ チェックリストとセルフレビュー ○ エスカレーション ○ 安全・情報セキュリティの基本 <hr/> <ul style="list-style-type: none"> ◎ 作業手順を読んでチェックポイントを列挙 → グループで整理
<p>02 職場の基本ルール</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 就業規則と勤怠（遅刻・欠勤の連絡） ○ 報・連・相の型 ○ 守秘義務と情報管理 ○ コンプライアンス（法律・社内ルール） <hr/> <ul style="list-style-type: none"> ◎ ミニケースを読んで報・連・相メッセージを作成 → グループで推敲 	<p>07 タスク・時間の管理</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ ToDoと優先順位（重要/緊急） ○ 見積りとバッファ ○ 割込み対応 ○ 締切とプロミス <hr/> <ul style="list-style-type: none"> ◎ 1週間の学習・作業スケジュールを作成 → 相互コメント
<p>03 多様性と異文化協働</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 時間感覚・上下関係の違い ○ 偏見への意識 ○ 相互リスペクトがある言い方 ○ 共通言語（やさしい日本語+英語） <hr/> <ul style="list-style-type: none"> ◎ 文化差の場面をロールプレイ → 気づきを整理 	<p>08 継続的な学び</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 学びのPDCA ○ 学習ログ（ノート・ツール） ○ 資格学習の入り口 ○ 学習コミュニティの使い方 <hr/> <ul style="list-style-type: none"> ◎ 自分の学習ログ様式を試作 → ペアで改善
<p>04 チームワークとロール</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 役割（リーダー/メンバー） ○ 助け合いとレビュー ○ 小さな目標の分担 ○ 振り返りミーティング <hr/> <ul style="list-style-type: none"> ◎ 簡単な作業計画をチームで設計（役割分担を明文化） 	<p>09 倫理とハラスメント防止</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 仕事の倫理（ごまかさない） ○ 権利と義務の入口（労働時間・休憩） ○ ハラスメントの例と線引き ○ 相談先・記録の仕方 <hr/> <ul style="list-style-type: none"> ◎ 事例を読んで不適切発言の言い換えを検討
<p>05 コミュニケーション</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ やさしい日本語のコツ ○ メール・チャットの基本形式 ○ 会議での発言・メモ ○ フィードバックの受け方・伝え方 <hr/> <ul style="list-style-type: none"> ◎ メール文の改善（件名・本文・依頼）とミニ発表 	<p>10 IT留学生のキャリア設計</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 強みの棚卸し（学習・言語・経験） ○ キャリアパス例 ○ 短期・中期目標の作り方 ○ 日本・母国・国際の選択肢 <hr/> <ul style="list-style-type: none"> ◎ 個人キャリアシートを作成 → グループで相互レビュー

開発08 IT留学生教育プログラム開発——シラバス 骨子 (科目B)

▼【科目B】日本事情

日本で学んだり働いたりするために知っておくべき日本の社会・文化や現在について概論的に理解する。

<p>01 社会構造の概要</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 国・都道府県・市区町村 ○ 人口・高齢化の現状 ○ 働き方の種類（正社員／契約・派遣社員） ○ 地域社会の仕組 <hr/> <p>◎ 居住区の行政窓口・支援情報を調べてミニ発表</p>	<p>06 情報空間の諸相</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 日本のメディア（TV・新聞・ネット） ○ SNSマナー ○ 個人情報と安全 ○ フェイク情報の見分け <hr/> <p>◎ 1つのニュースを複数媒体で比較 → 注意点をミニ発表</p>
<p>02 生活文化の実際</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 住まいとゴミ出し ○ 医療・保険・マイナンバー ○ 銀行・携帯・交通系IC ○ 災害への備え <hr/> <p>◎ 来月の生活のToDoリストを作成 → 相互レビュー</p>	<p>07 日本の産業におけるIT</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 製造のIT（工場の自動化等） ○ 金融のIT（キャッシュレス等） ○ 小売のIT（EC・在庫管理等） ○ 働き方とIT（勤怠管理・テレワーク等） <hr/> <p>◎ 身近な店・サービスのIT活用を観察 → ミニ発表</p>
<p>03 職場文化の諸相</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 納期・時間管理の重視 ○ 報・連・相と会議 ○ 上下関係と敬語 ○ 休暇・残業の考え方 <hr/> <p>◎ 職場の暗黙知を列挙・整理 → グループで発表</p>	<p>08 JAPANコンテンツの素地</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 漫画・アニメ・ゲームの概要 ○ 制作の流れ（企画→制作→配信） ○ ファン文化とコミュニティ ○ 海外展開と著作権の意識 <hr/> <p>◎ 好きなJAPANコンテンツを解説（法に抵触しない範囲で）</p>
<p>04 伝統文化の概観</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 神道・仏教の入口 ○ 年中行事（正月・お盆等） ○ 礼儀（挨拶・所作等） ○ 地域の祭り <hr/> <p>◎ 出身国の行事と日本の行事の共通点を比較・発表</p>	<p>09 都市と地方の多様性</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 東京・大阪・札幌・名古屋・福岡等の特徴 ○ 地方の産業（農業・観光等） ○ 地域文化と方言 ○ 地方 × IT（地域課題・リモート対応等） <hr/> <p>◎ 関心ある地域を調べて地図付きでミニ発表</p>
<p>05 伝統文化とデジタル技術</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 文化財のデジタル保存（写真・動画・3D） ○ 観光 × AR/VR ○ 和楽器・舞台の配信 ○ 和食・和服のオンライン発信 <hr/> <p>◎ 地域の伝統をデジタルで紹介する1頁案を作成</p>	<p>10 社会参画の入口</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 税と社会保険の基礎 ○ 地域活動・ボランティア ○ 相談窓口（役所・NPO等） ○ 災害時の行動 <hr/> <p>◎ 自分の日本での相談先リストを作成 → 相互レビュー</p>

開発08 IT留学生教育プログラム開発——シラバス 骨子 (科目C)

▼【科目C】就職適性検査対策：言語領域

授業内容を理解したり就職試験で求められたりする言語領域の能力（言葉の意味・関係や話の要旨を的確に捉えて理解できる能力）を高める。

<p>01 出題の全体像と対策</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 出題範囲と形式（語彙・文法・読解等） ○ 時間配分の考え方 ○ 解く順 ○ ミスを減らすコツ <hr/> <p>◎ 例題10問 → 解法共有</p>	<p>06 長文読解</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 段落構成の把握 ○ キーワードの把握 ○ 図表挿入文の読解 ○ スキミング <hr/> <p>◎ 300～500字の読解問題（+根拠部線引き）を練習</p>
<p>02 語句の意味・二語関係</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 同義語・対義語 ○ 包含関係 ○ 言い換え易い語 ○ 接頭辞・接尾辞 <hr/> <p>◎ N3～N2語彙で二語関係問題を練習</p>	<p>07 情報整理と換言</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 表や箇条書きによる整理 ○ 言い換え（名詞化・動詞化等） ○ 情報や記述の順序の並べ替え ○ 一文要約 <hr/> <p>◎ 一文要約の問題を練習 → 相互レビュー</p>
<p>03 文の論理構造</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 接続語（つまり・しかし・だから等） ○ 論理関係（同意・対比・因果等） ○ 指示語（これ・それ・この・その等） ○ 空欄補充の考え方 <hr/> <p>◎ 短文整序（並べ替え）で論理問題を練習</p>	<p>08 実務文書リテラシー</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ メールの型（件名・宛名・本文） ○ 申請・報告の型 ○ 指示文書（メール）の読解 ○ 注意書きの理解 <hr/> <p>◎ 社内通知の読み取り&質問の書き出しの練習</p>
<p>04 文法と敬語の運用</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 助詞（は・が・を・に等） ○ 助動詞・補助動詞（～られる・～ている等） ○ 敬語（尊敬語・謙譲語・丁寧語） ○ ビジネス文の型 <hr/> <p>◎ ビジネス（社内）メール文の校正（誤り探し）を練習</p>	<p>09 構造的把握の基礎</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 結論→理由→例の順 ○ 段落間の関係 ○ 話の骨子メモ（箱書き） ○ 紛らわしい選択肢の捨て方 <hr/> <p>◎ 骨子メモを作りながら例題解答</p>
<p>05 要旨把握（短文）</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 主題・述部の確認 ○ 要点抽出（誰が・何を等） ○ 例（事実）と主張（意見）の区別 ○ 正誤判断 <hr/> <p>◎ 100～150字の要旨問題を練習</p>	<p>10 技術日本語の読解</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 基本IT用語（保存・更新・権限等） ○ 簡単な仕様書の読解 ○ 手順書・注意事項の読解 ○ 表グラフ付き説明文の読解 <hr/> <p>◎ 短い仕様文の空欄補充問題+用語確認</p>

▼【科目D】就職適性検査対策：非言語領域

授業内容を理解したり就職試験で求められたりする非言語領域の能力（数的な処理や論理的思考を的確に遂行できる能力）を高める。

<p>01 出題の全体像と対策</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 出題範囲（割合・表読み・推論等） ○ 時間配分の考え方 ○ 計算を速くする工夫 ○ ミスを減らすコツ <hr/> <p>◎ 例題5問 → 解法共有</p>	<p>06 図形と空間把握</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 角度と三角形 ○ 面積・体積の基本形 ○ 展開図のイメージ ○ 相似の考え方 <hr/> <p>◎ 図を描いて考える練習（方眼紙使用）</p>
<p>02 割合・比・速さ</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 割合と百分率 ○ 比の単純化 ○ 速さ＝道のり×時間 ○ 単位変換 <hr/> <p>◎ 割合・速さの文章題（図で整理）を練習</p>	<p>07 論理と集合</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 命題と真偽 ○ 条件の読み替え ○ ベン図による整理 ○ 表条件の論理 <hr/> <p>◎ 真偽表・ベン図を用いて考える練習</p>
<p>03 表・グラフの解釈</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 棒グラフ・折れ線グラフ・円グラフ ○ 増減と平均 ○ 複合表の読み方 ○ 単位・尺度への注意 <hr/> <p>◎ 簡易な資料の読み取り → 要点整理を練習</p>	<p>08 最適化と数列</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 順序づけのコツ ○ 仕事量と時間配分 ○ 等差数列・等比数列の入口 ○ 段階的に良い案を選ぶ方法 <hr/> <p>◎ 配分問題を表にして比較する練習</p>
<p>04 場合の数と確率</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 並べ方の入口 ○ 表での数え方 ○ 基本の確率 ○ 独立・従属の考え方 <hr/> <p>◎ 少数値でケース分けして計算する練習</p>	<p>09 アルゴリズム的思考</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 手順の分け方 ○ 条件分岐 ○ 繰り返し ○ 簡単な疑似コードの読み方 <hr/> <p>◎ 手順カードを並べ替えて処理を説明する練習</p>
<p>05 整数と方程式</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 四則演算と約分 ○ 一次方程式 ○ 比を用いた方程式 ○ 連立方程式の基礎 <hr/> <p>◎ 数量関係の立式&解法を練習</p>	<p>10 統計リテラシーとデータ倫理</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 平均値・中央値・最頻値 ○ 散布図と相関関係の入口 ○ 標本と母集団 ○ データの偏りと公正 <hr/> <p>◎ 小データの要約表を作って解釈する練習</p>

開発08 IT留学生教育プログラム開発——シラバス例

科目	A IT留学生キャリア教育	B 日本事情	D 就職適性検査対策：非言語領域
科目目的	日本の職業・職場を知り、日本で働く意義・目的を考え、そのために必要な職業意識を醸成することを留学生に促す。	日本で学んだり働いたりするために知っておくべき日本の社会・文化や現在について概論的に理解する。	授業内容を理解したり就職試験で求められたりする非言語領域の能力（数的な処理や論理的思考を的確に遂行できる能力）を高める。
講	01 日本のIT人材として	01 社会構造の概要	05 整数と方程式
講概要	日本のIT職種（開発・保守・運用）の役割差を整理し、顧客視点での価値提供、責任と質保証を含むプロ意識、学び続ける姿勢を学習する。演習で「IT会社の1日」を想定し、自分の役割を短く説明して共有する。	国・都道府県・市区町村の役割、人口と高齢化、働き方の種類、地域社会の仕組を整理し、生活で困った時に「どこに相談するか」を考える基礎を作る。演習では居住区の行政窓口や支援情報を調べ、必要な時に迷わない導線を共有する。	四則演算と約分、一次方程式、比を用いた方程式、連立方程式の基礎を扱う。数量関係の立式演習で、条件を式に置き換える手順を確認し、天秤原理や加減法の考え方をを用いて確実に解く練習を行う。
科目内での当該講の位置付け	科目Aの導入として、IT人材の役割と価値提供を共通理解にする講である。以降の職場規範（講02）や協働（講03-04）、品質と行動（講06-07）を学ぶ前提になる「プロとしての視点」について本講で先行的に概観する。	科目Bの導入として、日本で暮らす・働くための制度地図を作る講である。以降の生活実務（講02）、職場文化（講03）、社会参画（講10）に進む前に、制度の全体像と窓口選択を本講で先行的に概観する。	割合・比（講02）に強く連動し、文章題を“式にする”技能を確立する講である。以降の図形（講06）や最適化（講08）でも立式が必要になるため、基礎計算と式変形の精度を本講で高め固める。
講形態	講義（オンデマンド視聴）＋演習（ライブ配信）	講義（オンデマンド視聴）＋演習（ライブ配信）	講義（オンデマンド視聴）＋演習（ライブ配信）
講内容	<ul style="list-style-type: none"> ○ 日本のIT職種と役割（開発・保守・運用の違い） ○ 顧客視点と価値提供 ○ プロフェッショナルとしての姿勢（責任・質保証） ○ 学び続ける意義 ◎ IT会社の1日を想定したケース討議＋共有 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 国・都道府県・市区町村 ○ 人口・高齢化の現状 ○ 働き方の種類（正社員／契約・派遣社員） ○ 地域社会の仕組 ◎ 居住区の行政窓口・支援情報を調べてミニ発表 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 四則演算と約分 ○ 一次方程式 ○ 比を用いた方程式 ○ 連立方程式の基礎 ◎ 数量関係の立式&解法を練習
キーワード	IT職種 開発 保守 運用 顧客視点 価値提供 プロ意識 継続学習	行政 都道府県 市区町村 人口 高齢化 雇用形態 地域社会 支援窓口	四則演算 約分 一次方程式 連立方程式 立式 比 検算 数量関係
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ◇ 日本のIT職種の役割差を理解し、自分の担当で求められる作業と責任を説明できる。 ◇ 顧客視点と価値提供の考え方を理解し、要件の背景を質問して提案に反映できる。 ◇ プロとしての姿勢と学び続ける意義を理解し、成長方針を言語化して実行計画に反映できる。 	<ul style="list-style-type: none"> ◇ 国・都道府県・市区町村の役割を理解し、必要な窓口を選んで説明できる。 ◇ 人口と高齢化の現状を理解し、生活や産業への影響を簡潔に説明できる。 ◇ 働き方の種類を理解し、自分に関係する支援や注意点を選定できる。 	<ul style="list-style-type: none"> ◇ 四則演算と約分を理解し、途中式を整えて正確に計算できる。 ◇ 一次方程式を理解し、未知数設定から解までを手順として実行できる。 ◇ 連立方程式と比の立式を理解し、文章題を式に変換して説明できる。
理解度確認テスト（出題観点）	<ul style="list-style-type: none"> ① 運用職の役割識別 ② 顧客視点の行動選択 ③ 成果責任としてのプロ理解 ④ 当事者意識欠如の判別 ⑤ ドッグイヤーの概念理解 	<ul style="list-style-type: none"> ① 行政区分の役割理解 ② 少子高齢化の影響把握 ③ 派遣社員の制度理解 ④ 地域ルールの基本認識 ⑤ 正社員の特徴理解 	<ul style="list-style-type: none"> ① 約分の意味理解 ② 方程式の両辺操作 ③ 比の立式 ($2x \times 3x$) ④ 加減法の誤解回避 ⑤ 差から比を立てる考え方

開発09 IT留学生教育コンテンツ制作——講義映像&確認テスト 例

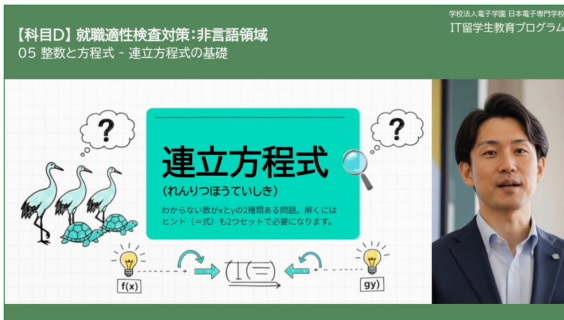
▼ 講義映像 (4節×10講×4科=160点)



【科目A】IT留学生キャリア教育



【科目B】日本事情



【科目D】就職適性検査対策:非言語領域

▼ 確認テスト (5問×10講×4科=200問)

【問 題】 講義A01-1「日本のIT職種と役割」に拠れば、システムの動作状況を常に監視し、データのバックアップやセキュリティ対策等の“日常的な管理”を担う職種はどれですか。

【選択肢】 **運用 (Operations)** 開発 (Development) 保守 (Maintenance) 営業 (Sales)

【問 題】 講義A01-4「学び続ける意義」で説明されている「ドッグイヤー」は、IT業界のどのような特徴を表しますか。

【選択肢】 **技術の進化スピードが非常に速く、1年で7年分の変化が起きること。** 犬のように従順に働くことが求められること。 入社してから7年間は下積み期間が必要であること。 一度学んだ技術は、一生使い続けられること。

【問 題】 講義B01-2「人口・高齢化の現状」で説明されている日本の現状として誤っているものを1つ選んでください。

【選択肢】 **高齢化が進んだ主な理由は、子供の数が減ったからである。** 日本の65歳以上の高齢者の割合は、全人口の約3割に達する。 少子化は、生れる子供の数が減ってゆくことである。 日本では、労働力の不足が深刻化しており、留学生の就職チャンスが広がっている。

【問 題】 講義B01-3「働き方の種類」に基づき、「正社員」の特徴として正しいものを1つ選んでください。

【選択肢】 **会社と「期間の定めのない」(無期)雇用契約を結ぶ、安定した働き方である。** 雇用期間が決まっており、契約更新手続が必要である。 基本的にボーナス(賞与)はなく、毎月の給料だけが支払われる。 会社が倒産しそうな場合も、法律に基づいて絶対に解雇されることはない。

【問 題】 講義D05-4「連立方程式の基礎」に基づき、2つの式を用いて解く「加減法」の説明として誤っているものを1つ選んでください。

【選択肢】 **式: $x+y=10$ の x を $2x$ に揃えるためには、 x だけを2倍すればよい。** 2つの文字 (x, y) を同時に解けないため、どちらか1つを消すことを考える。 文字を消すために、その文字に付いている数字(係数)を揃える必要がある。 式全体を何倍かして数字を揃え、式同士を引き算(または足し算)して文字を消す。

【問 題】 講義D05-3「比を用いた方程式」に基づき、「兄と弟の所持金の比は7:3で、兄は弟より1200円多く持っている」という問題を解くための方程式として正しいものを1つ選んでください。

【選択肢】 **$7x+3x+1200$ または $7x-3x=1200$** $7x+3x=1200$ $7x=1200$ $3x=1200$

▼ 演習課題 (1題×10講×4科=40題)

科目	A IT留学生キャリア教育	講	01 日本のIT人材として	形式	IT会社の1日を想定した ケース討議＋共有 (自分の役割を短く説明)
時間	45～90分	設定	IT現場シミュレーション「トラブル発生！ その時プロはどう動く!？」		
目的	① 役割の理解： 開発・運用・保守の立場の違いと連携を体験する。 ② プロ意識の実践： 顧客視点と納期・品質の板挟みの中で、プロフェッショナルとしての判断力（オーナーシップ）を養成する。 ③ 発信力の向上： 自分の役割と意見を簡潔かつ論理的に伝える力を強化する。				

1 導入・確認 (5分)

導入： 今日皆さんがIT企業の社員になったつもりで、ある緊急事態に対応してもらいます。講義で学んだ「役割」「顧客視点」「責任感」を実際に使ってみましょう。

確認： 3つの職種（開発・運用・保守）と、プロフェッショナルとしてのキーワード（納期厳守、品質、顧客の成功）について軽く振り返る。

2 ケース提示——シナリオ「ECサイトのセール前日」(5分)

次の状況を資料または口頭で説明する。

状況設定

皆さんはECサイト構築プロジェクトのメンバーです。明朝9時から、顧客にとって年間最大の「大セール」が始まります。

発生した問題

本日17時（定時1時間前）に決済画面で、特定の条件下でエラーが出るバグが見つかりました。

- 修正には徹夜の作業が必要であるが、復旧できる保証は100%でない。
- このままリリースすれば、一部の顧客が買えない可能性がある（売上損失）。
- 復旧を延期すれば、セールの告知が無駄になり、顧客からの信用に関わる。

3 グループ討議 (20分)

チーム編成： 1グループ3～4人。次の役割を分担させる。

- ① 開発担当：“機能を作る人”。修正して間に合わせたいが、新たなバグも怖い。
- ② 運用担当：“守る人”。不安定なシステムをリリースしたくない。安定稼働が第一。
- ③ 保守担当・リーダー役：“直す人・全体を見る人”。現状を分析し、現実的な解決策を探る。

討議テーマ： プロフェッショナルとして明朝9時にどうするか。

(リリース強行 or 延期 or 機能制限?)

条件

- 自分らの都合（眠い、帰りたい等）でなく「顧客のビジネスの成功」を最優先に考える。
- 「指示がないからやりません」はNG。自分事（オーナーシップ）として解決策を出す。

4 発表・共有 (15分)

各チームの代表者（または全員）に、次のフォーマットで発表させる。

発表フォーマット

- ① 私の役割は [職種名] です。主な仕事は [システムを～する仕事] です。
- ② 私たちのチームの決断は [結論] です。
- ③ 理由は、顧客にとって [価値・メリット等] が最大になると考えたからです。

教員介入ポイント

「それは顧客にとって安心ですか」(品質)、「約束を守れていますか」(責任) 等と問い掛ける。

5 講評・総括 (5分)

資料の内容に基づき、次のポイントで総括する。

- ◇ 正解はないが、姿勢が重要
 - ☞ 技術力だけでは解決できません。チームで報連相を行い、透明性を確保できたかが重要です。
- ◇ 品質と納期のバランス
 - ☞ バグがあるままで出すのは“プロ失格”ですが、ビジネスチャンス（納期）を逃すのも損失です。そのギリギリの判断でテスト・レビューがいかに重要であったかを再認識しましょう。
- ◇ 学び続ける意義
 - ☞ 今回の議論で知識不足を感じたら、それが学びのスタートです。技術はドッグイヤーで進むため、常に新しい解決策を学び続けましょう。

開発10 IT留学生学修評価基準作成——評価基準（領域A）

大分類	中分類	小分類＝評価基準	評価レベル		
			Lv.1	Lv.2	Lv.3
A 職業実践コンピテンシー (ITキャリア基盤)	01 職務理解と価値提供	<ul style="list-style-type: none"> ▶ 日本のIT職種の役割差を理解し、自分の担当で求められる作業と責任を説明できる。 ▶ 顧客視点と価値提供の考え方を理解し、要件の背景を質問して提案に反映できる。 ▶ プロとしての姿勢と学び続ける意義を理解し、成長方針を言語化して実行計画に反映できる。 	<p>要支援（基礎未安定）</p> <p>▼当該スキルの概念・手順・注意点が断片的で、説明または実践が指示・例示・支援がないと成立しない。</p>	<p>基本到達（型に沿って実行可能）</p> <p>▼概念・手順・注意点を理解し、例・チェックリスト・型に沿えば、説明または実践を概ね正確に行える。</p>	<p>自立実践（状況に応じて適用）</p> <p>▼概念・手順・注意点を理解し、状況の違いを踏まえ、説明または実践を自力で安定的に行えて根拠も示せる。</p>
	02 職場規範と情報取扱い	<ul style="list-style-type: none"> ▶ 就業規則と勤怠連絡の基本を理解し、遅刻・欠勤時に必要事項を適切に連絡できる。 ▶ 報・連・相の型を理解し、状況に応じて簡潔かつ正確なメッセージを作成できる。 ▶ 守秘義務とコンプライアンスを理解し、情報管理のルールを守って行動できる。 			
	03 多文化協働と配慮表現	<ul style="list-style-type: none"> ▶ 文化差（時間感覚・上下関係等）を理解し、誤解が生じ易い点を説明できる。 ▶ 偏見の構造と相互リスペクトを理解し、相手を傷つけない言い方に言い換えられる。 ▶ 共通言語としてのやさしい日本語を理解し、短文化と確認質問で意思疎通を実践できる。 			
	04 チーム遂行と役割運用	<ul style="list-style-type: none"> ▶ チーム内の役割（リーダー／メンバー）を理解し、自分の役割と期待行動を説明できる。 ▶ 助け合いとレビューの意味を理解し、観点に基づいた確認と指摘を実践できる。 ▶ 小目標の分担と振り返りを理解し、作業計画と改善点をチームで共有できる。 			
	05 実務コミュニケーション運用	<ul style="list-style-type: none"> ▶ やさしい日本語のコツを理解し、伝わる短文と具体語で依頼・相談できる。 ▶ メール・チャットの基本形式を理解し、件名・要件・期限を明確に記述できる。 ▶ 会議発言とメモ、フィードバックの型を理解し、受け方と伝え方を実践できる。 			
	06 リスク予防と小さな品質	<ul style="list-style-type: none"> ▶ ミスの種類を理解し、起き易い原因に合わせた予防策を説明できる。 ▶ チェックリストとセルフレビューを理解し、作業前後の点検を習慣化できる。 ▶ エスカレーションと情報セキュリティの基本を理解し、異常時に適切に報告できる。 			
	07 タスク・時間マネジメント	<ul style="list-style-type: none"> ▶ ToDoと優先順位の考え方を理解し、重要度と緊急度で順序を決定できる。 ▶ 見積りとバッファの意味を理解し、根拠ある所要時間を説明して調整できる。 ▶ 割込み対応と締切の扱いを理解し、遅延リスクを早めに共有して約束を守る。 			
	08 自律学習と成長習慣	<ul style="list-style-type: none"> ▶ 学びのPDCAを理解し、目標→実行→振り返りを短サイクルで回せる。 ▶ 学習ログの目的を理解し、ノートやツールで学習記録を継続できる。 ▶ 資格学習と学習コミュニティの使い方を理解し、支援を得ながら学びを継続できる。 			
	09 職業倫理と安全な相談	<ul style="list-style-type: none"> ▶ 仕事の倫理を理解し、ごまかさない判断と行動を具体例で説明できる。 ▶ 権利と義務の入口を理解し、労働時間・休憩の基本を踏まえて行動できる。 ▶ ハラスメントの線引と相談手順を理解し、記録と相談を安全に実践できる。 			
	10 キャリア意思決定と計画	<ul style="list-style-type: none"> ▶ 強みの棚卸しを理解し、学習・言語・経験を根拠付きで説明できる。 ▶ キャリアパスと目標設定を理解し、短期・中期の行動計画を作成できる。 ▶ 日本・母国・国際の選択肢を理解し、条件比較に基づく意思決定を実践できる。 			

開発10 IT留学生学修評価基準作成——評価基準（領域B）

大分類	中分類	小分類=評価基準	評価レベル		
			Lv.1	Lv.2	Lv.3
B 日本社会・文化適応リテラシー	01 社会制度ナビゲーション	<ul style="list-style-type: none"> ▶ 国・都道府県・市区町村の役割を理解し、必要な窓口を選んで説明できる。 ▶ 人口と高齢化の現状を理解し、生活や産業への影響を簡潔に説明できる。 ▶ 働き方の種類を理解し、自分に関係する支援や注意点を選定できる。 	<p>要支援（基礎未安定）</p> <p>▼当該スキルの概念・手順・注意点が断片的で、説明または実践が指示・例示・支援がないと成立しない。</p>	<p>基本到達（型に沿って実行可能）</p> <p>▼概念・手順・注意点を理解し、例・チェックリスト・型に沿えば、説明または実践を概ね正確に行える。</p>	<p>自立実践（状況に応じて適用）</p> <p>▼概念・手順・注意点を理解し、状況の違いを踏まえ、説明または実践を自力で安定的に行えて根拠も示せる。</p>
	02 生活オペレーション基礎	<ul style="list-style-type: none"> ▶ 住まいとゴミ出しのルールを理解し、地域の手順に基づいて実践できる。 ▶ 医療・保険・マイナンバーの基本を理解し、必要時に手続きを選択できる。 ▶ 銀行・携帯・交通系ICと災害備えを理解し、生活ToDoとして整理できる。 			
	03 日本型職場文化の理解	<ul style="list-style-type: none"> ▶ 納期と時間管理の重視を理解し、遅延時の相談と再計画を実践できる。 ▶ 報連相と会議の進め方を理解し、必要情報を整理して共有できる。 ▶ 上下関係・敬語・休暇残業の考え方を理解し、誤解を避けて説明できる。 			
	04 伝統文化の読み解き	<ul style="list-style-type: none"> ▶ 神道・仏教の入口を理解し、行事や施設での基本作法を説明できる。 ▶ 年中行事と礼儀の意味を理解し、生活や職場での配慮として実践できる。 ▶ 地域の祭りや地域差を理解し、自国文化との共通点と相異点を説明できる。 			
	05 伝統×デジタル活用の理解	<ul style="list-style-type: none"> ▶ 文化財のデジタル保存を理解し、写真・動画・3Dの意義を説明できる。 ▶ 観光×AR/VRの概要を理解し、地域紹介の簡単な企画案を作成できる。 ▶ 配信・オンライン発信の留意点を理解し、権利と配慮を踏まえて実践できる。 			
	06 情報空間の安全利用	<ul style="list-style-type: none"> ▶ 日本のメディア特性を理解し、目的に合う情報源を選択できる。 ▶ SNSマナーと個人情報保護を理解し、公開範囲と安全行動を実践できる。 ▶ フェイク情報の見分け方を理解し、確認手順と根拠を説明できる。 			
	07 産業横断ITの理解	<ul style="list-style-type: none"> ▶ 製造・金融・小売でのIT活用を理解し、身近な例で説明できる。 ▶ 働き方とIT（勤怠・テレワーク等）を理解し、利点と注意点を整理できる。 ▶ 観察結果の纏め方を理解し、サービスのIT活用の要点を発表できる。 			
	08 コンテンツの文化と権利	<ul style="list-style-type: none"> ▶ 漫画・アニメ・ゲームの概要を理解し、制作の流れを説明できる。 ▶ ファン文化とコミュニティの特徴を理解し、礼儀を守って参加できる。 ▶ 海外展開と著作権の基本を理解し、安全な紹介・共有を実践できる。 			
	09 地域多様性と進路視点	<ul style="list-style-type: none"> ▶ 主要都市と地方の特徴を理解し、生活条件の違いを説明できる。 ▶ 地方の産業・地域文化・方言を理解し、異文化配慮の観点で比較できる。 ▶ 地方×ITの方向性を理解し、地域課題へのIT活用例を提案できる。 			
	10 社会参画とセーフティネット	<ul style="list-style-type: none"> ▶ 税と社会保険の基本を理解し、最低限の手続きの流れを説明できる。 ▶ 地域活動・ボランティアの意義を理解し、無理がない参加方法を選択できる。 ▶ 相談窓口と災害時行動を理解し、自分の相談先リストを作成できる。 			

開発10 IT留学生学修評価基準作成——評価基準（領域C）

大分類	中分類	小分類＝評価基準	評価レベル		
			Lv.1	Lv.2	Lv.3
C 言語推論・実務読解スキル	01 受検戦略（言語領域）の設計	<ul style="list-style-type: none"> ▶ 言語領域の出題範囲と形式を理解し、学習対象の全体像を説明できる。 ▶ 時間配分と解答順を理解し、自分の受検戦略として実行できる。 ▶ ミスを減らす基本動作を理解し、根拠を示して選択肢を判断できる。 	<p>要支援（基礎未安定）</p> <p>▼当該スキルの概念・手順・注意点が断片的で、説明または実践が指示・例示・支援がないと成立しない。</p>	<p>基本到達（型に沿って実行可能）</p> <p>▼概念・手順・注意点を理解し、例・チェックリスト・型に沿えば、説明または実践を概ね正確に行える。</p>	<p>自立実践（状況に応じて適用）</p> <p>▼概念・手順・注意点を理解し、状況の違いを踏まえ、説明または実践を自力で安定的に行えて根拠も示せる。</p>
	02 語彙関係の推論	<ul style="list-style-type: none"> ▶ 同義語・対義語を理解し、選択肢の意味差を説明できる。 ▶ 包含関係を理解し、上位語・下位語の整合で正解を選択できる。 ▶ 接頭辞・接尾辞の働きを理解し、未知語の意味を推測して説明できる。 			
	03 文の論理構造の把握	<ul style="list-style-type: none"> ▶ 接続語の機能を理解し、〈因果〉〈対比〉等の関係を特定できる。 ▶ 指示語の参照関係を理解し、文脈に基づいて指示内容を説明できる。 ▶ 空欄補充の考え方を理解し、前後の論理から適切に選択できる。 			
	04 文法・敬語の実務運用	<ul style="list-style-type: none"> ▶ 助詞の基本機能を理解し、誤用を避けて文を調整できる。 ▶ 助動詞・補助動詞の意味を理解し、文脈に合う語形を選択できる。 ▶ 敬語とビジネス文の型を理解し、場面に合う表現を実践できる。 			
	05 短文要旨と正誤判断	<ul style="list-style-type: none"> ▶ 主題・述部を理解し、短文の中心命題を抽出できる。 ▶ 事実と意見の区別を理解し、根拠に基づいて正誤を判断できる。 ▶ 要点抽出の観点を理解し、短い要旨として説明できる。 			
	06 長文読解の手順化	<ul style="list-style-type: none"> ▶ 段落構成を理解し、結論と根拠の位置を説明できる。 ▶ キーワード把握を理解し、話題転換と要点を追跡できる。 ▶ スキミングの方法を理解し、時間内に読解と設問処理を実践できる。 			
	07 情報整理と換言	<ul style="list-style-type: none"> ▶ 表・簡条書きによる整理を理解し、情報を構造化して示せる。 ▶ 言い換えの技法を理解し、意味を保って簡潔に表現できる。 ▶ 一文要約を理解し、要点を落さず短く纏められる。 			
	08 実務文書の読解・作成	<ul style="list-style-type: none"> ▶ メールの型を理解し、件名・宛名・本文を適切に作成できる。 ▶ 申請・報告の型を理解し、必要情報を漏れなく整理できる。 ▶ 注意書きの読み方を理解し、疑問点を質問として列挙できる。 ▶ 〈結論→理由→例〉の型を理解し、文章の骨子をメモ化できる。 			
	09 構造化メモと選択肢処理	<ul style="list-style-type: none"> ▶ 段落間関係を理解し、論旨の繋がりを説明できる。 ▶ 紛らわしい選択肢の特徴を理解し、捨て肢の根拠を説明できる。 ▶ 基本IT用語を理解し、仕様・手順での用いられ方を説明できる。 			
	10 技術日本語の読解	<ul style="list-style-type: none"> ▶ 簡単な仕様書を理解し、要件と制約を抽出して整理できる。 ▶ 手順書・注意事項を理解し、誤解なく実務行動に結び付けられる。 			

開発10 IT留学生学修評価基準作成——評価基準（領域D）

大分類	中分類	小分類=評価基準	評価レベル		
			Lv.1	Lv.2	Lv.3
D 数理・論理推論スキル	01 受検戦略（非言語領域）の設計	<ul style="list-style-type: none"> ▶ 非言語領域の出題範囲を理解し、頻出テーマと注意点を説明できる。 ▶ 時間配分と解答順を理解し、得点源から解く運用を実践できる。 ▶ 計算速度とミス削減の基本を理解し、検算を含む手順で実行できる。 	▼当該スキルの概念・手順・注意点が断片的で、説明または実践が指示・例示・支援がないと成立しない。 ▼要支援（基礎未安定）	▼基本到達（型に沿って実行可能） ▼概念・手順・注意点を理解し、例・チェックリスト・型に沿えば、説明または実践を概ね正確に行える。	▼自立実践（状況に応じて適用） ▼概念・手順・注意点を理解し、状況の違いを踏まえ、説明または実践を自力で安定的に行えて根拠も示せる。
	02 割合・比・速度のモデル化	<ul style="list-style-type: none"> ▶ 割合と百分率を理解し、基準量を確認して正しく計算できる。 ▶ 比の扱いを理解し、簡約・配分・比較を手順に基づいて実践できる。 ▶ 〈速さ=距離÷時間〉を理解し、単位変換を含めて文章題を解答できる。 			
	03 図表読解と数値解釈	<ul style="list-style-type: none"> ▶ 棒・折れ線・円グラフを理解し、目的に合う読み方で要点を抽出できる。 ▶ 増減率と平均を理解し、分母の取り方を踏まえて正しく計算できる。 ▶ 複合表と単位・尺度を理解し、見落としや誤読の罠を避けて判断できる。 			
	04 場合分けと確率	<ul style="list-style-type: none"> ▶ 並べ方の入口を理解し、重複と抜けを避ける列挙を実践できる。 ▶ 確率の基本を理解し、全事象と有利事象を対応付けて計算できる。 ▶ 独立・従属を理解し、事象の関係に応じて式を選んで説明できる。 			
	05 計算基礎と方程式化	<ul style="list-style-type: none"> ▶ 四則演算と約分を理解し、途中式を整えて正確に計算できる。 ▶ 一次方程式を理解し、未知数設定から解までを手順として実行できる。 ▶ 連立方程式と比の立式を理解し、文章題を式に変換して説明できる。 			
	06 図形・空間の可視化	<ul style="list-style-type: none"> ▶ 角度と三角形の性質を理解し、必要な角度関係を説明できる。 ▶ 面積・体積の基本形を理解し、分割合成で求める手順を実践できる。 ▶ 展開図と相似を理解し、対応関係と比を用いて量を算出できる。 			
	07 命題・集合の論理	<ul style="list-style-type: none"> ▶ 命題と真偽を理解し、条件に対する結論の妥当性を判断できる。 ▶ 条件の読み換えを理解し、対偶等で整理して矛盾を検出できる。 ▶ ベン図と表条件を理解し、集合の関係を可視化して結論を導出できる。 			
	08 最適化と数列の基礎	<ul style="list-style-type: none"> ▶ 順序付けのコツを理解し、評価軸に基づいて候補を比較できる。 ▶ 仕事量と時間配分を理解し、制約条件下で配分を計画できる。 ▶ 等差・等比数列を理解し、基本性質を用いて一般項や和を扱える。 			
	09 アルゴリズム的思考	<ul style="list-style-type: none"> ▶ 手順の分け方を理解し、処理を段階化して説明できる。 ▶ 条件分岐と繰り返しを理解し、トレースで状態変化を追跡できる。 ▶ 擬似コードの読み方を理解し、誤りや見落としを検出して修正できる。 			
	10 統計リテラシーと倫理	<ul style="list-style-type: none"> ▶ 平均・中央値・最頻値を理解し、目的に合う代表値を選んで説明できる。 ▶ 散布図と相関を理解し、因果と混同せずに傾向を解釈できる。 ▶ 標本と母集団、偏りと公正を理解し、データの扱い方針を提案できる。 			

オンラインオープンキャンパス——各回概要

国	ベトナム	韓 国	中 国
日時	令和7年10月19日（日） UTC+7 10:00～12:00	令和7年10月22日（水） 18:00～19:15	令和7年11月02日（日） UTC+8 14:00～16:30
現地会場	ハノイ VJCCセンター（貿易大学内）	ソウル NHK語學院	福 州 福州経貿会展センター
現地運営	NKDV	NHK語學院 （李委員・宋オブザーバ等）	福建留日分会・福州藝航教育グループ 謝オブザーバ
現地参加者	現地日本語学校・高校等 在校生＆保護者 40人以上	現地日本語学院・大学等 在校生＆保護者 30人以上	現地高校生・大学生等 在校生＆保護者 50人以上
日本出席者	寺脇委員長・山上委員・木村委員・ 徳安委員・古川委員・菊池オブザーバ・ 電子学園卒業生1人・事務局	寺脇委員長・山上委員・木村委員・ 古川委員・電子学園在校生2人・事務局	寺脇委員長・山上委員・木村委員・ 何委員・古川委員・ 電子学園在校生2人・事務局
内容	① 開会宣言（山上委員） ② 実施委員長挨拶（寺脇委員長） ③ 日本のイメージ・IT人材・就職事情・留学生活・学校紹介（木村委員） ④ 日本の企業における外国人材採用の実態（古川委員） ⑤ 先輩メッセージ：学校生活・アルバイト・課外活動・就職活動等（10/19 フィン先輩、10/19 ク先輩・チョン先輩、11/02 劉先輩・黄先輩） ⑥ 質疑応答（先輩・木村委員・古川委員等） ⑦ 閉会宣言（山上委員） ⑧ アンケート回答		

オンラインオープンキャンパス——ベトナム

▼ 10/19 ベトナム (ハノイ VJCCセンター) 実施風景 通訳 あり



▼ 10/22 韓国 (ソウル NHK語學院) 実施風景

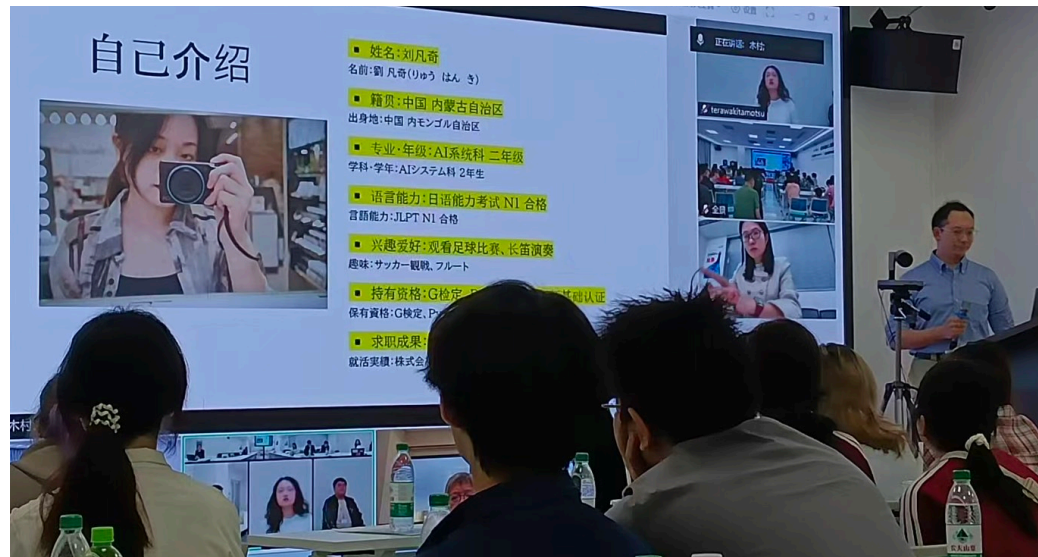
通訳 なし



オンラインオープンキャンパス——中国

▼ 11/02 中国 (福州 福州経貿会展センター) 実施風景

通訳あり



令和8年度

【活動Ⅲ】 在学中の生活支援

調査	⑦ IT専修学校留学生支援実態調査
	⑧ IT留学生日本生活実態調査
	⑨ 在留外国人支援サービス事例調査
開発	11 IT留学生教育プログラム改良拡張
	12 留学生生活支援指導ガイド制作（動画・リーフレット等）
	13 留学生向け生活支援ガイド制作（動画・リーフレット等）
催行	◆ オンラインオープンキャンパス 中韓越 計3回開催
	◆ 留学生生活支援研修会 3回開催
	◆ 留学生交流会 1～2回開催

在学中の留学生における生活上の諸問題は、日本語・宗教・流儀・食事・健康・資金・法制度・犯罪等、多岐に亘る。一つ一つの個別の問題はその都度、各校に設けられた相談窓口や個人面談等による対応に委ねるしかない。

しかし、産学官連携で組織的に取り組む本事業に可能な留学生への生活支援の活動は、各校における次のような課題や要望に応えるものと想定する。

- 「留学生を“ポストコロナ”の新しいモデルで、または初めて受け入れる場合、在籍管理や生活指導等について、ガイドラインや他校事例を見ただけでは不安を拭えない。それらの情報やノウハウを継続的に共有できる環境が欲しい」
- 「来日入学後に日本語能力の不足が判明しても専門教育内での語学力強化対策は非常に難しいため、入学選考時に日本語能力を適正に評価できる方法を知りたい。今後は特に非漢字圏学生の増加が予想されるため、選考や教育指導・生活支援における対応ノウハウの共有がより重要と考える」
- 「留学生は、アルバイト時間に制限がある一方で、授業や実習に対応する必要もある。学費や生活費をアルバイトだけで賄うことは非常に厳しいため、経費支弁関係を学校が確認できるような方法の事例や情報を共有してほしい」

そこで、本事業では、かような諸問題に対応し得る情報やノウハウを各校が共有できるよう、次の企画に取り組む。

- ◆ 情報・ノウハウ・事例を紹介するコンテンツ（映像・リーフレット等）の制作
- ◆ 有識者・関係者・各校担当教職員等による情報共有会・研修会の定期開催
- ◆ インターカレッジでの留学生交流会・学習会の開催

留学生が在学中に日本での学びや暮らしを安心して継続できるよう、在籍管理から生活サポートまで広く、彼らを支援する。

▼
普段彼らとの接触が多い留学生担当等の教職員を対象にした啓発コンテンツの制作や情報共有会・研修会等の開催、インターカレッジでの留学生交流会等の企画を実施する。